

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



患者さまの健康をサポートします。
からだにやさしい内視鏡で



内視鏡検査技師 看護師
植原 悦子

内視鏡室長
松山 太一

写真撮影 江角 誠

【特集】

当院の内視鏡治療について

- VOICE
- いま、何が研究されているか 臨床検査科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 研修日程表

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 良質で安全な医療の提供 | 4. 教育・研修・臨床研究の推進 |
| 2. 政策医療の推進 | 5. 国際医療協力の推進 |
| 3. 医療連携と救急医療の推進 | 6. 健全経営 |

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

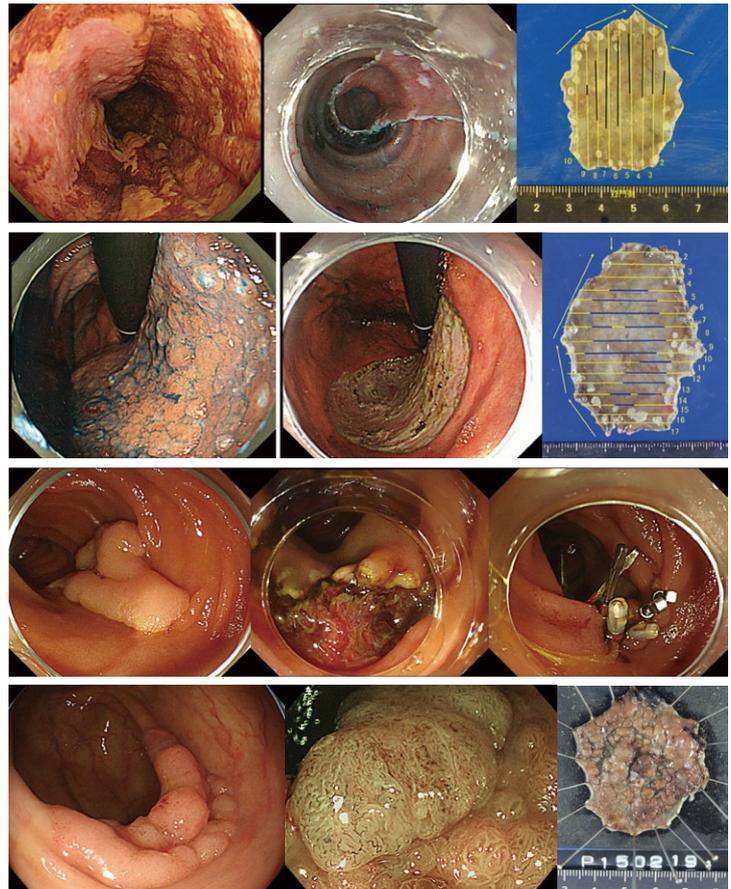
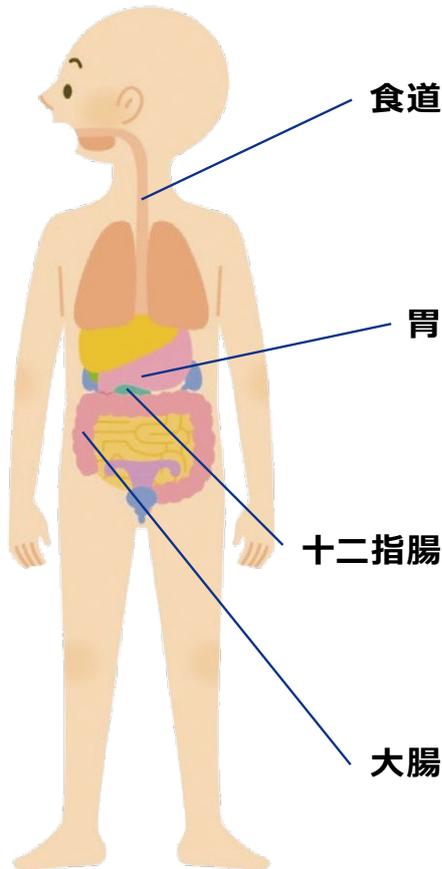
特集

体にやさしい低侵襲の治療 内視鏡治療



●当院は、救急疾患を始め精神疾患を含めた併存症を持つ患者さまについても、内視鏡治療の適応のある早期癌に関して積極的に治療を行っています。体の負担が少なく、治療後早期に退院でき、早期の粘膜内癌であれば、高い根治性が期待できます。

当院における消化管表在型腫瘍に対する内視鏡治療（平成 29 年度実績）



● ESD

(内視鏡的粘膜下層剥離術)

食道	8 件
胃	19 件
十二指腸	4 件
大腸	67 件

計 98 件

● EMR

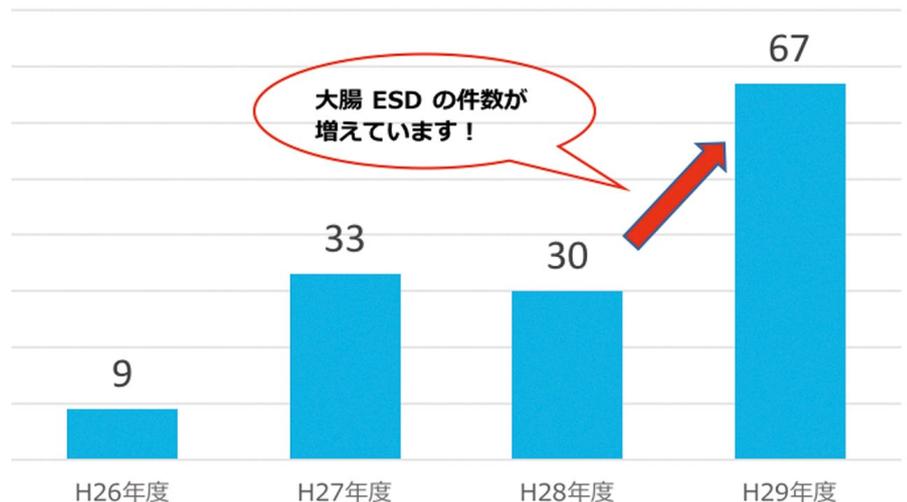
(内視鏡的粘膜切除術)

Polypectomy, Cold polypectomy を含む

胃	2 件
十二指腸	1 件
大腸	223 件

計 226 件

大腸 ESD (内視鏡的粘膜下層剥離術) 件数の推移



その他の内視鏡検査・治療実績 (平成 29 年度)

【診 断】

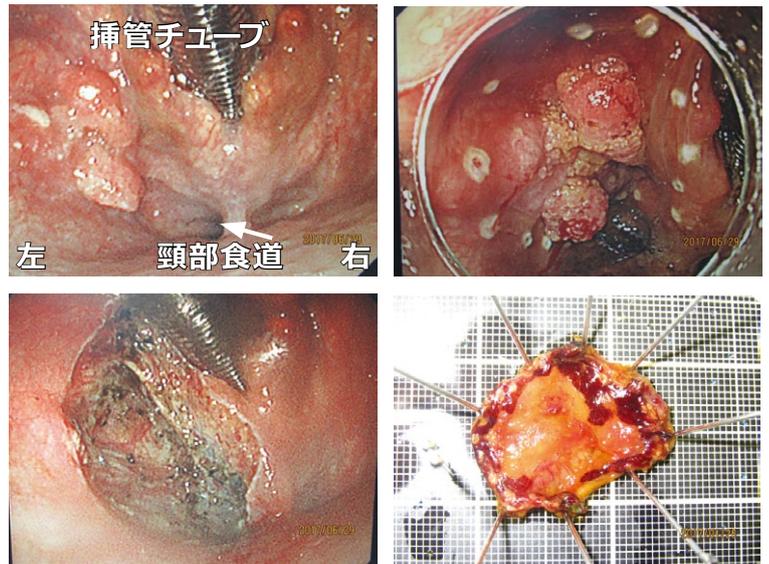
● 上部消化管内視鏡検査	2762 件
● 下部消化管内視鏡検査	1818 件
● 超音波内視鏡検査 (EUS)	
消化管	38 件
胆 膵	171 件
● 小腸カプセル内視鏡検査	9 件
● 小腸内視鏡検査	11 件

【治 療】

● 内視鏡的消化管止血処置	120 件
● 食道静脈瘤治療	
内視鏡的静脈瘤硬化療法 (EIS)	32 件
内視鏡的静脈瘤結紮術 (EVL)	35 件
● 内視鏡的異物除去術	25 件
● 経皮内視鏡的胃瘻造設術 (PEG)	29 件
● 消化管ステント留置術	20 件
● 内視鏡的胆管膵管造影 (ERCP)・関連手技	319 件
● 超音波内視鏡下穿刺吸引術 (EUS-FNA)	20 件
● 超音波内視鏡下瘻孔形成術	4 件

内視鏡的咽喉頭手術 (ELPS)

当院では咽喉頭領域の表在癌に対して、耳鼻科医と協力して、ELPS / ESDハイブリッド治療を行っています。



私たちがサポートします



診療部長
消化器内科部長
消化器病センター長
杉 和洋



医長
超音波診断室長
NST チェアフェルター
中田 成紀



医長
浦田 昌幸



医長
石井 将太郎



医長
内視鏡室長
松山 太一



医師
久木山 直貴



医師
富口 純



医師
上野 茂紀



内視鏡検査技師
植原 悦子



内視鏡検査技師
鳴川 はるみ



内視鏡検査技師
山邊 陽子



内視鏡検査技師
木村 恵美



看護師
緒方 紀海子



看護師
正代 まゆみ



看護師
野中 良子

- 今年度、小腸内視鏡の導入を予定しています。
- 消化管腫瘍に関する検査・治療に関して、お悩み・ご相談がございましたら、いつでも消化器内科までご連絡下さい。

VOICE

登録医の声

医法)平成会
熊本田崎クリニック

院長 西岡 宏晃



◆貴院のアピールをお願いします

熊本田崎クリニックは西区田崎2丁目にあり、田崎市場横のイオンモールとゆめマートに隣接した旧県漁連跡地に7月から開院しております。当院は整形外科と糖尿病内科を専門とした有床診療所です。院内には専門の理学療法士による運動器リハビリテーションを実施可能なリハビリテーション室と、メタボ予防のための栄養指導と調理指導を提供できるオープンキッチンを完備した栄養指導室を設置しております。糖尿病専門医の副院長は分子栄養学に基づいた栄養指導も行っており、身体の内側と外側両方から自然治癒力を導き出すアドバイスをしています。

◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

地域に密着したかかりつけ医としての役割を果たすべく、在宅等でのサブアキュート患者さんができるだけ住み慣れた地域で治療できるように、いつでも受け入れ可能な体制を整えています。しかし、当院での治療が困難な症例はいつも熊本医療センターへお願いしております。熊本医療センターの先生方は、ときには時間外にもかかわらず、いつも早く迅速に対応して頂き、心強く思うとともに、大変お世話になり心から感謝申し上げます。



◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

スポーツ全般に興味があります。高校時代にやっていたハンドボールは、長男も中学からハンドボールを始めたこともあり試合を見る機会が多く、最近では県リーグの試合にも時々参加させて頂いております。2019年女子ハンドボール世界選手権大会は熊本開催であるため、スポーツ医としてのみならず何らかの形でお手伝いしたいと思います。また、オートバイも好きで、時々何も考えず郊外を徘徊してストレス発散しております。交通事故で熊本医療センターの先生方にご迷惑をおかけしないように安全運転を心掛けたいと思います。

【診療科目】

整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科・内科
糖尿病内科・循環器内科・呼吸器内科

【診療時間】

整形外科 月・火・木～土 9:00～13:00
月・火・木・金 14:30～18:00
内 科 月～土 9:00～13:00
月～金 14:30～18:00

【休診日】

日曜・祝祭日

【住所】

〒860-0053 熊本市西区田崎2-5-30

【TEL】

096-211-0011

地域医療連携室直通電話をご利用下さい

先生方には日頃より患者様の御紹介を頂きありがとうございます。当院は、地域医療連携室へのお電話が繋がりにくいのご指摘を受け、直通電話を設置致しております。

この直通電話は、関係医療機関の皆様から頂くお電話のみをお受け致します。患者様からの直接のご相談は、代表電話を通じて承る予定です。

医療機関の皆様のための直通電話になります。ホームページ等では公表いたしておりませんので、ご了承下さい。今後ともよろしくお願い申し上げます。 地域医療連携室長 渡邊健次郎

地域医療連携室直通電話

096 - 353 - 6693

月～金（祝日を除く）AM 8:30～PM 17:00



新任職員紹介 救命救急科

やまだ なるみ
山田 成美



8月より救命救急科で勤務させて頂いております。前任地は長崎医療センター 救急科ですが、集中治療専門医取得のため、学会認定施設である熊本医療センターで1年間勉強させて頂くことになりました。救急医になってだいぶ経ちましたが、それ以前は内科医として離島で勤務していました。まだまだ未熟者でお役に立てるかわかりませんが、熊本の救急医療をしっかり学びたいと思っています。ご指導よろしくお願いいたします。

心不全を契機にミトコンドリア病と診断され、ミトコンドリア心筋症が疑われた1例

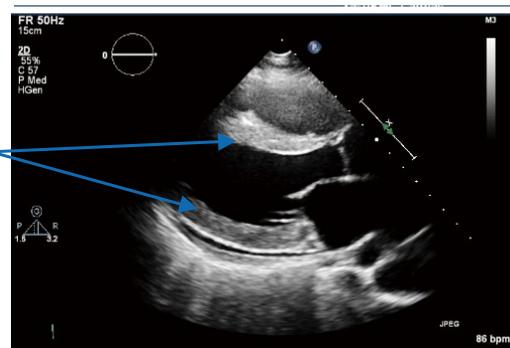
臨床検査科 大屋 佳央理

ミトコンドリア病は、エネルギー産生を行っているミトコンドリアの機能低下により臨床症状が出現する病態であり、その中でも心筋障害を呈するものはミトコンドリア心筋症とされています。今回、心不全を契機にミトコンドリア病と診断され、ミトコンドリア心筋症が疑われた症例を経験したので報告します。症例は50歳代女性で主訴は息切れです。既往歴に糖尿病、感音性難聴があります。現病歴は1カ月前より夜間息切れがあり心不全疑いにて入院となりました。心エコー検査では全周性に壁肥厚があり、左室駆出率(Simpson法)は28%で左室収縮能はびまん性に低下していました。既往歴や家族歴からミトコンドリア病を疑い、遺伝子検査を含めた精査が行われミトコンドリアDNA3243の変異が確認されミトコンドリア病(MELAS)と診断されました。以下にミトコンドリア病の認定基準(国指定難病医療費等助成対象疾病 疾病番号52より改変引用参照)を示します。ミトコンドリア病の認定基準には主症候と検査・画像所見があります。主症候には①進行性の筋力低下、または外眼筋麻痺を認める。②知的退行、記憶力障害、痙攣、精神症状、失語・失認・失行、強度視力低下、一過性麻痺、半盲・皮質盲、ミオクローヌス、ジストニア、小脳失調などの中枢神経症状のうち1つ以上を認める。③心伝導障害、心筋症などの心症状、糸球体硬化症、腎尿細管機能異常などの腎症状、強度の貧血などの血液症状、中等度以上の肝機能低下などの肝症状のうち1つ以上を認める。の3項目があります。検査・画像所見には①安静臥床時の血清または髄液の乳酸値が繰り返して高い、またはMRスペクトロスコピーで病変部に明らかな乳酸ピークを認める。②脳CT/MRIにて、梗塞様病変、大脳・小脳萎縮像、大脳基底核、脳幹に両側対称性の病変等を認める。③筋生検または症状のある臓器でミトコンドリアの形態異常を認め

る。④ミトコンドリア関連酵素の欠損またはコエンザイムQ10などの中間代謝物の欠乏を認める。⑤ミトコンドリアDNAの質的、量的異常、またはミトコンドリア関連核遺伝子変異を認める。の5項目があります。主症候のうち1項目以上かつ検査・画像所見のうち2項目以上認めればミトコンドリア病が確定とされています。本症例では主症候の③心筋症などの心症状、検査・画像所見の②小脳萎縮像、⑤ミトコンドリアDNAの質的、量的異常を認めたためミトコンドリア病と確定診断されました。次に、ミトコンドリア心筋症診断の手引き(ミトコンドリア心筋症診断の手引きとその解説参照)によるとミトコンドリア障害の根拠となる主たる項目はミトコンドリア病の認定基準に沿っていますが、それに加え、肥大型、拡張型、拘束型などの心筋症の病態を呈するものが該当します。本症例は心筋生検が実施できなかったこと、乳酸値の上昇が基準以上満たさなかったこと、ミトコンドリア関連酵素の欠損を認めなかったことよりミトコンドリア心筋症としては疑い例とされています。

今回の症例を通して様々な診断基準を確認しながら心エコー検査を実施することの重要性を実感しました。今後、他の病態においても既往歴や家族歴なども意識しながら検査を行いたいと考えます。

全周性に
壁肥厚あり



〈左室長軸像〉

平成30年度第1回
「アドバイサリー・コミティ」開催

7月18日

去る7月18日(水)、本年度第1回目のアドバイサリー・コミティを開催いたしました。アドバイサリー・コミティは、地域の急性期中



核病院としての当院の診療機能の充実と当院の理念の推進を図ることを目的に、外部委員の医師の皆さまから忌憚のないご意見を頂戴する会議です。今回、外部委員長の木村義博様(花園内科クリニック院長)の他、森永博史様(森永上野胃・腸・肛門科院長)、中島央様(有明メンタルクリニック院長)、田中英一郎様(せんだメディカルクリニック副院長)、森孝志様(青磁野リハビリテーション病院副院長)の計5名の外部委員の先生方にご出席をいただきました。病院側は、高橋院長をはじめ総勢26名が参加しました。話題提供といたしまして、幸崎神経内科医長より「当院での脳梗塞超急性期治療」、柴木眼科医長より「当院における鎮静下白内障手術」についてお話をさせていただきました。その後の意見交換で外部委員の皆さまから頂いた貴重なご意見を今後の参考にさせていただき、診療機能のさらなる充実を図りながら、病院運営に活かしてまいりたいと思います。

管理課 管理課長

福田 信也

Shinya Fukuda



「モニター会議」開催

7月23日

地域住民の皆さまから幅広く意見を聴取し、診療機能の充実を図ると共に、地域に密着した病院として、良質な医療の推進を図ることを目的とする「モニター会議」を開催しました。モニター委員として、森裕子様、藤原謙吾様、橋本弥生様、福住いさ子様の計4名の皆さまにご参加頂きました。会議では、病院紹介として高橋院長の「病院概要の説明」をはじめ各部署からの近況報告等を行いました。当院の概況について説明した後に、委員の皆様から当院に対するご意見を頂きました。予定時間を超過しましたが、有意義な意見交換となりました。これからも地域住民の皆さまのご意見を参考にさせていただきますながら、地域に密着した病院となるよう努力していきたいと思ひます。



管理課 管理課長

福田 信也

Shinya Fukuda



第97回「特別講演」開催

8月1日

熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学教授
坂上 拓郎 (さかがみ たくろう) 教授

『抗サイトカイン抗体症候群について』という演題で、本年度より熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学教授に就任された坂上拓郎先生をお迎えして、8月1日に特別講演が行われました。院内外



講演をされる熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学教授 坂上拓郎先生 ▶



問わず多くの方に御参加いただいた中、肺胞蛋白症など様々な疾患と抗サイトカイン抗体との関連性について大変興味深い内容で講演して頂きました。

呼吸器内科医長

名村 亮

Ryo Namura



平成30年度第1回
「熊本市歯科医師会・国立病院機構
熊本医療センター連絡協議会」開催

7月31日

7月31日(火) 19時より熊本県歯科医師会館会議室で開催されました。宮本格尚熊本市歯科医師会会長からのご挨拶と高橋院長の挨拶のあと、歯科口腔外科から紹介率などの現状、救急部からは歯科救急医療の報告があり、今後の医科歯科連携の方向性について意見交換を行い、相互理解と連携を深めることができました。



▲挨拶をされる熊本市歯科医師会会長の宮本格尚先生

歯科・口腔外科部長

中島 健

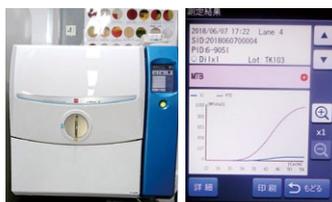
Takeshi Nakashima



結核菌PCR検査が
院内で行えるようになりました

検査科

全自動遺伝子解析装置『ミュータスワコーg1』が微生物検査室に入りました。感染制御対策チーム(ICT)を通したうえでの使用となりますが、前処理を含めて1時間半で結核菌の検出が可能となります。迅速な検査結果を提供し、診療に貢献出来るように努めていきます。



◀『ミュータスワコーg1』本機(左)と、検査結果画面(右)

細菌血清主任

小川 沙希恵

Sakie Ogawa



院内看護師対象

「二の丸 ICLS コース」開催

7月8日

二の丸ICLSコースを開催しました。ICLSでは、突然の急変に対して、応援が到着するまでの「最初の10分間」に特化して蘇生法を学びます。当院では、先輩看護師を指導者に、年2回のコースで毎年40名が受講しています。今回は、菊池消防から救急救命士の隈部さんも指導に来てくださり、



熱意ある指導のもと、受講生全員が、蘇生チームのリーダーになれる段階まで習熟する事ができました。

救急科医長・救急外来責任医師
ヘリ救急主任

山田 周
Shu Yamada



内閣府主催 平成 30 年度

8月4日

「大規模地震時医療活動訓練」参加報告



救命救急部山田医長、松原副看護部長、富永副看護部長、秦事務職員と共にDMATとして内閣府の大規模地震時医療活動訓練に参加しました。南海トラフ地震を想定しての実動訓練であり、被災地想定である大

分県に赴きました。自衛隊機にて重症傷病者を熊本空港へ空路搬送する任務の予定でしたが、熊本があいにくの天気で自衛隊機が飛行できませんでした。しかし大分でのSCU活動、及び自衛隊機内への傷病者搬入や診療機材の固定等を実施することができ、いい経験となりました。

管理課 庶務係

志道 邦彦
Kunihiko Shido



看護学校はボランティア活動

も行っています

看護学校



当校では年間を通して、地域のボランティア活動へ参加をさせていただいています。今年度も、『熊本城下坪井川精霊流し』、『かんかんカフェ』、『新町地藏祭り』、一新校区『三面地藏祭り』、NHO 熊本再春荘病院『SUMMER FEST '18』に参加しました。学生は、様々な活動の機会を得ることで、地域の人々とふれあい、人としての学びを深めることができます。



▲三面地藏まつりで露店の手伝い(上)
新町地藏まつりでよさこいソーランを披露(下)

附属看護学校 教員

高松 三穂子
Mihoko Takamatsu



第20回「熊本 PEEC コース」・7月14・15日

第04回「熊本 PPST コース」開催

去る7月14日と翌15日に、当院研修センターを会場として、

帝京大学救命救急医学講座から
お越し頂いた三宅康史先生と ▼

『PEEC-K2 0』『PPST-K4』を開催いたしました。遠く関東や近畿からも参加を得て、PEECコース23名、PPSTコース9名の方が、精神科救急の初期評価・初期対応を学ばれました。14日夕方は、帝京大学救命救急医学講座から三宅康史先生にお越し頂いての特別講演会も開催し大変好評でした。今年度は9月29日、11月23日にもPEECコースを企画しますので奮ってのご参加をお願いいたします。



救急科医長・精神科医長
精神科救急主任

橋本 聡
Satoshi Hashimoto



平成 30 年度 看護協会主催

看護部

「高校生の一日看護体験」を終えて



『高校生の一日看護体験』が7月26日に開催され、当院でも39名の高校生が参加しました。白衣に身を包み各病棟に分かれ看護



師から説明や指導を受けました。血圧測定や手浴などをとても楽しそうに体験していました。意見交換会では、「移乗の場面で患者を励ましながら援助していた。かっこいいと思った。」「患者さんに笑顔で接することで心の支えになると感じた。看護はよい仕事だと思った。」などの意見がありました。限られた短い時間ではありましたが参加された高校生のみなさんは、素晴らしい看護体験ができたようでした。

6階北病棟副看護部長

大野 智和
Tomokazu Ono



第2CTの

バージョンアップをしました!

放射線

第2CT室の装置SOMATOM Definition AS+ (SIEMENS社製)が、6月11日よりバージョンアップしました。電気ノイズの大幅な低減が可能となった検出器Stellar Detectorを搭載し、画質の向上が期待されます。また、CT下透視と、簡易的なDual Energy撮影も可能となりました(一部制約あり)。これらの機能を駆使して、これまで以上に質の高いCT検査、診療を提供できるよう努めていきます。



診療放射線技師

井上 信哉
Shinya Inoue



研修医レポート

臨床研修医

岡本 祐毅



はじめまして。研修医1年目の岡本祐毅と申します。熊本大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターにて初期研修を行っています。研修が始まってある程度の時間がたち、日常の業務にもやっと、少しずつですが慣れてきたところです。しかし救急外来での対応や鑑別などまだまだ先輩方のようにはいかないところが多々あります。はたして来年は先輩方と同じように自分で考え、指導医の先生方とディスカッションができるのか結構不安に思うこともあります。今は先輩方、指導医の先生方の背中をみて精一杯ついていくように頑張っています。

自分の研修はまずは糖尿病・内分泌内科からのス

タートでした。その後、循環器内科、消化器内科と続いています。糖尿病・内分泌内科では主に糖尿病の患者様の診療の実際を経験することができました。現在の生活習慣、食習慣を改善させることが一番大切な治療だと考えられますが、そのためには患者様とコミュニケーションをしっかりと、問題点をしっかりと把握することが大切だと思います。このことは他の診療科でも大切なことだと思います。もちろん、薬物治療に関してもしっかりと勉強させていただきました。循環器内科では心筋梗塞の患者様の超急性期治療の実際を経験することができました。1分1秒を争う現場のスピード感を体験でき、非常に勉強になりました。現在は消化器内科をローテート中で、腹部超音波検査で、四苦八苦しています。腹部臓器をうまく観察するにはどうしたらよいのか指導医の先生方から教えていただいたことを試行錯誤しながら毎日鍛錬中です。

これまでの研修の中でも数多くの方々にお世話になり、自分たちの研修はその大勢の人の協力がないと成り立たないと実感しています。これからもそのことを胸にスタッフ、患者様ともに感謝の気持ちをもって今後の研修生活を送っていこうと思います。

臨床研修医

大熊 見奈



こんにちは。研修医1年目の大熊見奈と申します。今年の3月に熊本大学を卒業し、4月より国立医療センターで研修医としてお世話になっております。研修が始まってから気が付けば4ヶ月が経過しましたが、まだまだ未熟で、スタッフの皆様の暖かさに支えられてようやく日々の研修を過ごすことができています。

私の研修生活は腎臓内科に始まりました。腎臓内科は固定オープン制ではないため最初こそ不安があったものの、先生方の熱心な指導といつも気にかけてくださる優しさのお蔭で非常に密度の濃い7週間を過ごすことが出来ました。大学とは違って当院の腎臓内科はシャント手術やPTAなどの手技が非常に多く、内科的治療に加えて多くの手技を手伝わせていただいて、

非常に充実した毎日でした。指導医の先生方だけでなく、病棟の看護師や臨床工学技士等のスタッフの方々も、困っていると声をかけてサポートして下さったり、研修医にとって非常に恵まれた環境であるなと痛感しました。

その次に代謝・内分泌内科をローテートさせていただいたのですが、糖尿病や電解質異常など全身疾患を幅広く学ぶことができ非常に面白い7週間でした。診察の面では、基本的な血糖コントロールの考え方や実際の薬物療法や食事療法、運動療法だけでなく、患者教育についても学ばせて頂きました。

現在は外科のローテートになりましたが、エネルギッシュな先生方と毎日様々な外科的手技をさせて頂き、非常に楽しい毎日です。

まだまだ余裕もなくご迷惑をお掛けすることばかりですが、毎日一つでも成長できるように邁進して参りたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしく願いいたします。



研修のご案内

第14回 診断と治療－最新の基礎公開講座－ 〔日本医師会生涯教育講座2.0単位認定〕

日時▶平成30年9月1日(土)15:00～17:30
場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

座長：魚返外科胃腸科医院 院長 魚返英寛 先生

演題：「マダニ・蚊媒介感染症－熊本県における発生状況、基礎と臨床と－」

- | | | |
|---------|----------------------------|---------|
| 1. 基礎から | 熊本県保健環境科学研究所微生物科学部研究主幹 | 大迫英夫 先生 |
| 2. 臨床から | 国立病院機構熊本医療センター感染症科・呼吸器内科医長 | 小野 宏 |

〔問合せ先〕 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線2630 096-353-3515 (直通) FAX 096-352-5025(直通)

第98回 特別講演(無料) 〔日本医師会生涯教育講座1.5単位認定〕

日時▶平成30年9月5日(水)18:30～20:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

座長：国立病院機構熊本医療センター統括診療部長 渡邊健次郎

「最近のうつ病診断と治療について」

熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野教授 竹林 実 先生

〔問合せ先〕 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター TEL 096-353-6501 (代表) 096-353-3515 (直通)

第235回 月曜会(無料) (内科症例検討会) 〔日本医師会生涯教育講座1.5単位認定〕

日時▶平成30年9月10日(月)19:00～20:30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室2

- 内科症例検討 診療で遭遇した興味ある症例の検討を行います。
「第1症例 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の2例」
国立病院機構熊本医療センター血液内科 嶋崎明子
「第2症例 肺塞栓症の1例(仮題)」
国立病院機構熊本医療センター循環器内科 中嶋直也
- ミニレクチャー「見逃されやすい神経疾患」
国立病院機構熊本医療センター神経内科医長 天野朋子

日頃、疑問の症例、興味のある症例、X線、心電図、その他がございましたら、ご持参いただきますようお願い致します。

〔問合せ先〕 国立病院機構熊本医療センター教育研修部長 富田 正郎 TEL: 096-353-6501 (代表) FAX: 096-325-2519

第195回 三木会(無料) (糖尿病、脂質異常症、高血圧を語る会) 〔日本医師会生涯教育講座1.0単位認定〕 〔日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定〕

日時▶平成30年9月13日(木)19:00～20:45
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室3
今月は研修室3での開催になります。ご注意ください。

- 「先端巨大症と糖尿病」
国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科 岡本祐毅
- 「SAP療法による周産期血糖管理」
熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学 特任助教 吉永佳代 先生

なお、興味のある症例、疑問・質問のある症例がございましたら、お持ちいただきますようお願い致します。

〔問合せ先〕 国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科部長 西川 武志 TEL 096-353-6501 (代表) 内線5441

第163回 救急症例検討会(特別講演)

日時▶平成30年9月26日(水)18:30～20:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

テーマ：「佐賀大学高度救命救急センターにおける地方からの挑戦」

佐賀大学医学部救急医学講座教授/附属病院救命救急センター長 阪本雄一郎 先生

事前参加のお申し込みは必要ありませんので、ご自由にお越しください。

〔問合せ先〕 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線2630 096-353-3515 (直通)

2018
9月

研修日程表

国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター

9月	研修センターホール	研修室
1日(土)	15:00~17:30 第14回 診断と治療 —最新の基礎公開講座— 「マダニ・蚊媒介感染症 —熊本県における発生状況、基礎と臨床と—」 [日本医師会生涯教育講座2.0単位認定] 座長 魚返外科胃腸科医院 院長 魚返英寛 先生 1. 基礎から 熊本県保健環境科学研究所微生物科学部研究主幹 大迫英夫 先生 2. 臨床から 国立病院機構熊本医療センター感染症科・呼吸器内科医長 小野 宏	
2日(日)	10:00~12:00 第285回 熊本県滅菌消毒法講座 「感染対策について ～災害時の対応も含めて～」	
3日(月)		
4日(火)		
5日(水)	18:30~20:00 第98回 特別講演 [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定] 座長 国立病院機構熊本医療センター統括診療部長 渡邊健次郎 「最近のうつ病診断と治療について」 熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野教授 竹林 実 先生	
6日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー 「急性下肢虚血について」 国立病院機構熊本医療センター心臓血管外科部長 岡本 実	
7日(金)		
8日(土)	9:00~17:00 第99回 救急蘇生法講座～二の丸ICLSコース～ 講師 国立病院機構熊本医療センター救命救急センター長 原田正公ほか	
9日(日)		
10日(月)		19:00~20:30 第235回 月曜会(内科症例検討会)(研2) [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定]
11日(火)		
12日(水)	18:00~19:30 第112回 国立病院機構熊本医療センター クリティカルパス研究会(公開)	
13日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー 「成人市中肺炎」 国立病院機構熊本医療センター呼吸器内科医長 名村 亮 18:30~20:00 第42回 熊本がんフォーラム	18:30~20:00 熊本臨床衛生検査技師会 一般検査研究班月例会(研2) 19:00~20:45 第195回 三木会(研3)(糖尿病、脂質異常症、高血圧を語る会) [日本医師会生涯教育講座1.0単位認定] [日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]
14日(金)		
15日(土)		
16日(日)		
17日(月)		
18日(火)		19:00~21:00 小児科火曜会(研1)
19日(水)		
20日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー 「脳神経外科の緊急疾患」 国立病院機構熊本医療センター脳神経外科医長 中川隆志 14:00~15:30 第66回 市民公開講座 「痛い痛い!尿管結石が今、増加中!」 国立病院機構熊本医療センター泌尿器科医長 陣内良映 18:30~20:00 熊本県臨床細胞学会	
21日(金)		15:30~16:45 臓病教室(研2) 「肝がんについて」
22日(土)		
23日(日)		
24日(月)		
25日(火)		
26日(水)	18:30~20:00 第163回 救急症例検討会・特別講演 「佐賀大学高度救命救急センターにおける地方からの挑戦」 佐賀大学医学部救急医学講座教授/附属病院救命救急センター長 阪本雄一郎 先生	
27日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー 「消化器内科に関する話(仮)」 国立病院機構熊本医療センター消化器内科医長 松山太一	19:00~21:00 熊本脳神経疾患懇話会(研2)
28日(金)		
29日(土)	9:00~13:00 第21回 熊本PEECコース	
30日(日)		

研1~3 2階研修室1~3

※二の丸モーニングセミナーにつきまして、詳細はホームページ(<http://www.nho-kumamoto.jp/>)をご参照ください。

問い合わせ先 〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター2階 地域医療研修センター TEL 096-353-6501(代) 内線2630 096-353-3515(直通)

発行所
国立病院機構熊本医療センター
〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号
TEL(096)353-6501(代)
FAX(096)325-2519
連携室直通TEL(096)353-6693
連携室直通FAX(096)323-7601